

# ボーカロイド教育版

中学校 第3学年 音楽

「作曲に挑戦しよう!」 第4時/全5時間

項目	内容
活用事例	<p>1 前時に作成した自分の作品の旋律の上がり下がりについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の言葉の抑揚に合った旋律の動きになっていないな。</li> <li>歌詞の言葉の抑揚に合った旋律にするためには、どのように音のつながり方を工夫するとよいただろう。</li> </ul> <p>2 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>言葉の抑揚に合った音のつながり方を工夫しよう。</p> </div> <p>3 言葉の特徴を生かして自分のイメージに合った音のつながり方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>凸凹しすぎて、どこが盛り上がる場所が分からない。</li> <li>旋律の終わりがまだ続きそうな感じになっている。</li> <li>フレーズのはじめの1小節目と5小節目の音のつながり方を似た感じにすると、統一感が出てくる。</li> <li>最後の音に向けてだんだん高くしたり、だんだん低くしたりすると、自分のイメージにあった終わり方に近づいてくることが分かった。</li> <li>自分が作った曲を口ずさんで音のつながり方を確かめてみよう。</li> </ul> <p>4 作品の交流をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の抑揚を生かして音の高さを上げたり下げたりすることで、曲のまとまりが出ている。</li> <li>休符を入れたり、音の長さを変えたりすることで、言葉のリズムの特徴を生かした旋律になって、もっと歌詞の思いが伝わる。</li> <li>自分の思いが伝わる旋律になってきた。</li> </ul> <p>5 完成した旋律に合わせて歌い、言葉の抑揚と合った旋律であるか確認する。</p> <p>6 ボーカロイドのファイルを提出し、振り返りを行う。</p>
期待される学習効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面を縮小表示すると楽譜全体を見渡すことができるため、旋律の音のつながり方を視覚的に捉えて旋律をつくることに生かすことができる。</li> <li>コードガイドを表示すると、和音の構成音が色分けして示されるため、誰もが旋律をつくる手掛かりとなる。また、つくった旋律と和音を同時に再生して聴いて確かめることができるため、つくった音楽を聴き、確認しながら創作ができ、自分の曲に愛着をもち作曲に充実感や達成感を味わうことができる。</li> <li>より言葉の抑揚を生かした音楽表現にするための工夫として、画面上で音の長さを変えて言葉のリズムを生かした旋律にしたり、パートを増やして、和声的な響きの美しさを生み出したりすることができる。主体的な学びを生み出すことにつながる。</li> <li>曲には様々な雰囲気があることを実感し、仲間の工夫に興味をもって交流を行うことができる。</li> </ul>



以下の学年・題材・時間においても同様の活用が可能

第1学年	<p>題材名「イメージと音楽とのかかわりを感じ取ろう」</p> <p>第1～4時/全4時</p>
第2学年	<p>題材名「曲の構成を理解して曲想を味わおう」</p> <p>第1～4時/全4時</p>

